

3

日本の水産業 / 日本の資源と林業

1 日本の水産業

(1) 世界一だった日本の水産業

1980年代、日本は漁かく量が世界一でしたが、現在の世界一は中国です。

(2) 日本でとれる主な魚

- ① いわし・さば…日本の漁かく量1・2位をしめ、主にまきあみ漁法でとります。かつては肥料や養殖魚のえさにも使われました。
- ② まぐろ・かつお…あたたかい水域にいる大型の魚で、まぐろはえなわ漁法、かつおは一本づりなどでとります。
- ③ すけとうだら…主に北洋でとれ、卵はたらこ、身はかまぼこやちくわなどに使われます。底引きあみ漁法などでとります。
- ④ さんま・いか…さんまは棒受けあみ漁法でとります。いかは、夜間に船上で灯りをつけて、その灯りに集まったところをとります。

(3) 日本の主な漁港・漁場

銚子港(千葉県)は沖合漁業の基地、焼津港(静岡県)は遠洋漁業の基地です。日本海側の境港(鳥取県)はかにながが多く水あげされます。いかの水あげ量が多い八戸港(青森県)と東日本大震災の津波の被害から回復しつつある石巻港や気仙沼港(宮城県)の沖に、暖流と寒流がぶつかる潮目[潮境]があり、プランクトンが豊富な好漁場になっています。また、東シナ海の大陸だなは、海草がよく育つ好漁場になっています。

(4) 漁業の種類

- ① 海のはんい…沿岸からのきよりによって、その国が領土と同じように治められる領海、沿岸の国が魚や地下資源の権利を持つ(排他的)経済水域、どの国にも属さない公海に分けられます。
- ② 沿岸漁業…領海(12カイリ内)で日帰り的小型の船を使います。赤潮やヘドロなど海のごれのために魚が少ないのがなやみです。
- ③ 沖合漁業…(排他的)経済水域(200カイリ内)で中型の船を使います。
- ④ 遠洋漁業…大型の船を使い、数十日~数か月かけておこないます。1970年代のオイルショック(石油危機)による燃料のね上がりや、各国が(排他的)経済水域をもうけたことで、漁かく量が減っています。

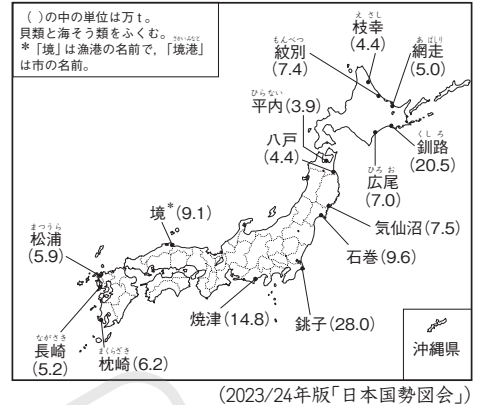
(5) 「とる漁業」から「育てる漁業」へ

- ① 養殖漁業…魚をふ化させて、いけすの中で育ててとります。
- ② 栽培漁業…魚をふ化させたあと、魚の子ども(稚魚)を放流し、自然の中で成長させてからとります。

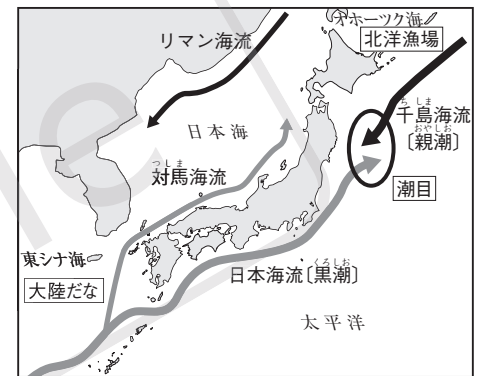
(6) 水産業がかかえる問題

- ① 輸入にたよる日本の水産業…1980年代ごろの魚介類の自給率は約100%でしたが、現在は世界有数の水産物輸入国になり、自給率は約57%(2021年)に落ちました。最大の輸入先は中国(2021年)です。
- ② 働く人の減少…1980年代は40万人以上が働いていましたが、現在は約13万人に減るとともに、働く人の高齢化が急速に進んでいます。

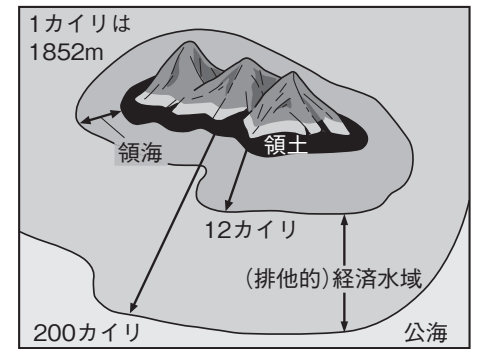
▼日本の主な漁港(2021年)



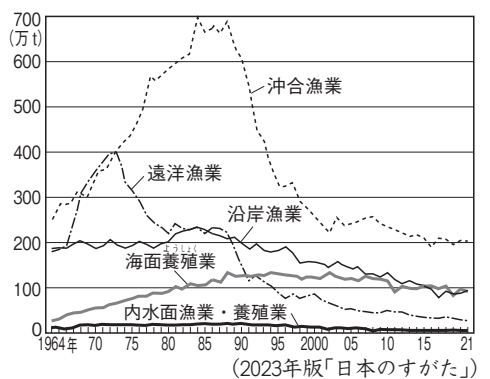
▼日本近海の主な漁場



▼海のはんい



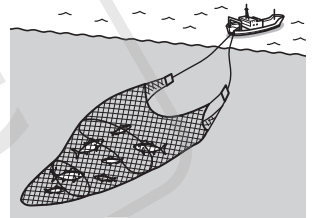
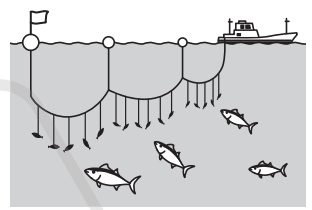
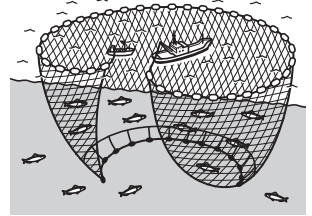
▼漁業種別の漁かく量



基本問題

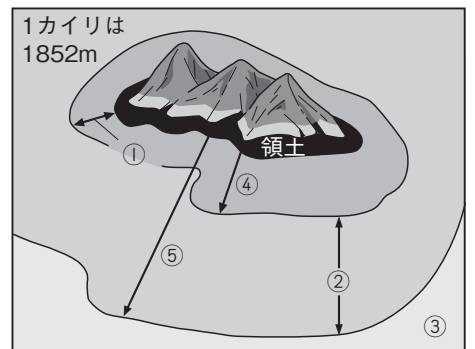
□1 主な漁法 次の□にあてはまることばを答えなさい。

- ① とさばは、現在の日本で漁かく量の上位をしめている魚です。かつては肥料や養殖魚のえさにも使われていました。この魚は、右の図のように魚の群れのまわりにあみを入れ、取り囲んでからあみをしぼる②漁法でとります。
- あたたかい水域にいるまぐろは、主に右の図のような長いなわに多くのつりばりをつける③漁法でとります。また、④は主に一本つりでとります。
- 主に北洋でとれる⑤という魚は、右の図のように海底までしずめたあみを船が引っばっていく⑥漁法でとります。こうしてとれた⑤はそのままでも食べますが、身をかまぼこやちくわに加工することがほとんどです。



2 海のはんい 次の問いに答えなさい。

- (1) 次の説明を参考にして、図中の①～③にあてはまる水域の名前を答えなさい。
- ①は、沿岸の国がすべての権利を持ち、領土と同じように治められます。
 - ②の水域にふくまれる魚や地下資源の権利は、その沿岸国が持ちます。したがって、外国の船が勝手に魚をとることはできません。
 - ③は、どこの国にも属さない水域です。どの国の船でも航海や漁業が自由にできます。



① □ ② □ ③ □

□(2) 海では「カイリ」というきよりの単位が使われます。図中の④・⑤にあてはまるきよりをカイリであらわしなさい。

④ □ カイリ ⑤ □ カイリ

2 日本資源

(1) 輸入にたよる資源

石灰石などをのぞき、日本は資源の多くを輸入にたよっています。

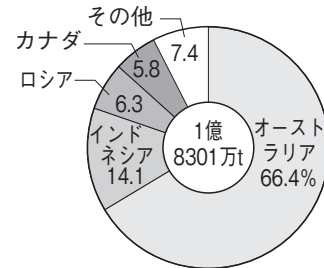
(2) 日本で使われる主な地下資源

- ① 石炭…「黒いダイヤ」とよばれ、産業革命以来、世界のエネルギーの中心でしたが、1960年代のエネルギー革命で地位が低下しました。
- ② 石油…原油を精製してつくられる重油やガソリンなどで、日本では新潟県などでわずかにとれますが、ほとんどは西アジア周辺の中東地域から輸入されたものです。1970年代のオイルショック(石油危機)をきっかけにして、日本各地に石油備蓄基地が建設されました。
- ③ 天然ガス…燃焼時に二酸化炭素をあまり出さないという長所があり、気体を冷やした液化天然ガス(LNG)が多く輸入されています。

(3) 日本の発電

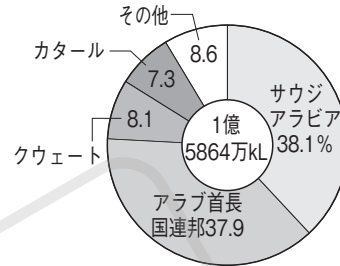
- ① 水力発電…川の上流にダムを、山間部に発電所をつくります。燃料のいらないクリーンな発電ですが、ダム建設時の森林破壊が短所です。
- ② 火力発電…現在の発電の中心で、発電所の建設費は安いですが、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の発生や大気汚染が短所です。
- ③ 原子力発電…ウランやプルトニウムを燃料とし、二酸化炭素を出しませんが、放射性物質もれや放射性廃棄物の処理などが短所です。
※火力発電所も原子力発電所も大量の水を必要とするため、海沿いにつくります。
- ④ 再生可能エネルギーによる発電…風車による風力発電、地下の蒸気を使う地熱発電、太陽光発電などが実用化されています。

▼石炭の輸入先(2022年)



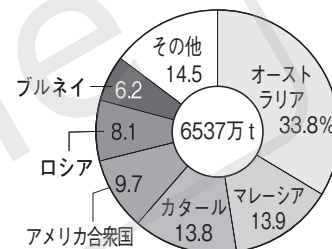
(2023/24年版「日本国勢図会」)

▼原油の輸入先(2022年)



(2023/24年版「日本国勢図会」)

▼液化天然ガスの輸入先(2021年)



(2023/24年版「日本国勢図会」)

3 日本林業

(1) 森林が多い日本

日本の国土の約3分の2が森林です。紀伊山地(和歌山県・奈良県・三重県)のように森林が多い地域では、古くから林業がさかんでした。

(2) 林業の作業

植林→下草がり→枝うち→間伐→伐採→出荷の順におこなわれ、短くても40年、長いと60~70年かかる大変な仕事です。

(3) 林業のかかえる問題

外国から安い木材が輸入されているので、木材自給率が約41%(2021年)と低くなっています。また、働く人の高齢化が進んでいます。

▼林業のさかんな地域と美林



発展学習

(1) 地球環境と水産業

日本がほこる「和食」はユネスコの無形文化遺産に登録されていますが、「すし」や「うなぎ」の材料になるクロマグロやニホンウナギは、乱かくのために絶滅のおそれがあります。また、日本が多く輸入しているえびは、東南アジアの国々のマングローブという水質の浄化に役立つ熱帯林を切り開いた養殖池で養殖されたものです。

(2) 持続可能な水産業をめざして

森林は土砂が海に流れ出すのを防ぐとともに、水を豊かにする養分をたくわえています。かきの養殖がさかんな宮城県では、養殖漁業をおこなう人々が「森は海の恋人」という考えから、川の上流で植林による森林の

基本問題

□3 日本で使われる主な地下資源 次の□にあてはまることばを答えなさい。

・「黒いダイヤモンド」ともよばれる石炭は、イギリスで始まった①以来、世界のエネルギーの中心でした。しかし、1960年代に多くの油田が発見され、石油がエネルギーの中心になる②が起こったため、その地位が低下しました。日本に多くあった炭鉱^{たんこう}も次々に消えていきました。

・石油とは、③を精製してつくられるガソリンや重油、軽油などをまとめたことばです。日本でもわずかにとれますが、多くが輸入されています。その90%近くは④地域の国々から輸入されています。

・天然ガスは、石炭や石油^{くら}に比べると⑤をあまり出さないという長所があります。輸入するときは、気体を冷やして⑥という液体にし、専用^{せんよう}の輸送船で運んできます。

□4 林業の作業 次の①～⑥は、林業の作業をおこなう順番を示しています。②・④・⑤にあてはまる作業の名前をそれぞれ答えなさい。

①植林(山に苗木^{なえぎ}を植える)→②(苗木が育つように雑草^{ざっそう}をとりのぞく)

→③枝うち(よぶんな枝を切る)→④(間引き作業をして森林の健康^{たも}を保つ)

→⑤(育った木を切る)→⑥出荷^{しゅっか}(トラックで木材を運ぶ)

保護を進めています。また、近畿^{きんき}大学は絶滅のおそれがあるクロマガロの完全養殖に成功しました。

(3) 消えた日本の炭鉱

エネルギーの中心が石炭から石油に変わると、北海道の「炭鉱の町」だった夕張市^{ゆうばり}は急速に人口が減少し、九州で「軍艦島」とよばれた端島^{はなはしま}(長崎県)は炭鉱の閉山によって無人島になってしまいました。

(4) 林業の昔と今

昔の日本人は、燃料となるたき木をとったり肥料^{ひりょう}となる落ち葉をひろったりして、森林とともにくらしていました。今はガスや電気を使い、人々が森林に入らなくなったので、森林があれています。

練習問題

1 日本の水産業 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

まわりを海に囲まれた日本は、^a沖合に暖流と寒流が流れ、それらがぶつかる(①)があったり、大陸だなという浅い海底が広がっていたりして、^b魚介類の種類や量が豊富です。このような自然の条件にめぐまれていたため、日本は昔から水産業がさかんであり、1980年代の漁^cかく量は世界一でした。しかし、世界各国が^d200カイリの(②)をもうけて自国の水産資源を保護したり、^e日本の近海がよごれたりしたため、^f漁かく量は減っていきました。それにともない、日本の水産業のようすも大きく変わりつつあります。

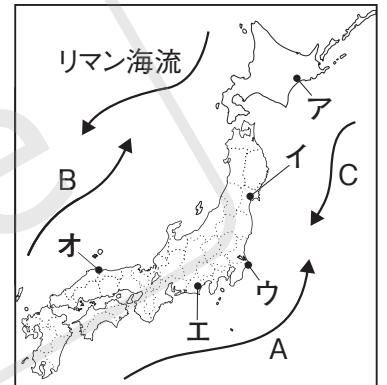
□(1) (①)・(②)にあてはまることばを答えなさい。

① ②

□(2) 下線部aについて、右の地図に示されたA・Bの暖流とCの寒流の名前を、漢字で答えなさい。

A 海流 B 海流

C 海流



□(3) 下線部bについて、次の漁港の位置を、右の地図中のア～オから1つずつ選びなさい。

さいかい 境港
ちやうし 銚子港
やいづ 焼津港

□(4) 下線部cについて、現在世界一の漁かく量をあげている国を、次のア～エから1つ選びなさい。

ア アメリカ合衆国 イ 中国 ウ 韓国 エ ロシア連邦

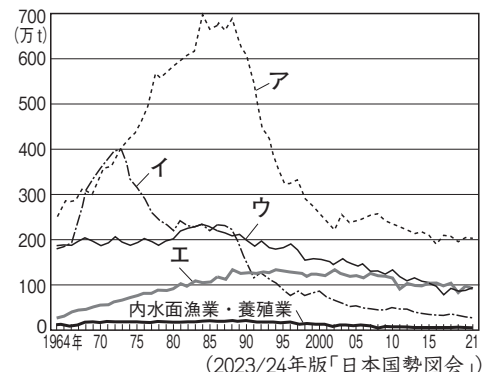
□(5) 下線部dについて、1カイリとはおよそどれくらいのきよりですか。次のア～エから1つ選びなさい。

ア 1852m イ 185.2m ウ 18.52m エ 1.852m

□(6) 下線部eについて、海がよごれたことによって海中のプランクトンが異常に発生し、海の色が変色して見える現象を何といいますか。

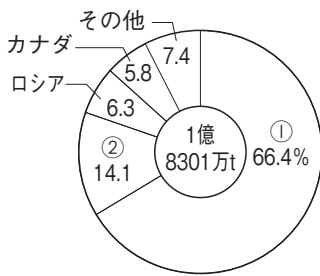
□(7) 下線部fについて、右のグラフは日本の漁業種別の漁かく量の移り変わりを示したものです。次の漁業にあてはまるものを、グラフ中のア～エから1つずつ選びなさい。

えんがん 沿岸漁業 <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/>	おきあい 沖合漁業 <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/>
とん 遠洋漁業 <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/>	ようしよく 海面養殖業 <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/>



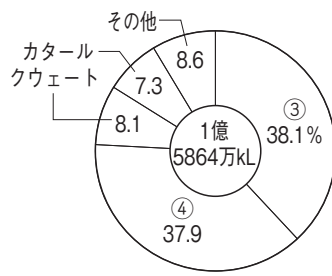
② 日本で使われる主な地下資源 次のグラフを見て、あとの問いに答えなさい。

石炭の輸入先(2022年)



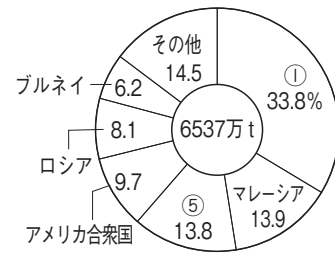
(2023/24年版「日本国勢図会」)

原油の輸入先(2021年)



(2023/24年版「日本国勢図会」)

液化天然ガスの輸入先(2021年)



(2023/24年版「日本国勢図会」)

□(1) グラフの①～⑤にあてはまる国を、次のア～オから一つずつ選びなさい。

- ア アラブ首長国連邦 イ インドネシア ウ オーストラリア エ カタール
オ サウジアラビア

① ② ③ ④ ⑤

□(2) 石炭・原油・天然ガスのうち、かつて世界のエネルギーの中心であり、黒いダイヤモンドと呼ばれていた資源は何ですか。

□(3) 天然ガスは、右の写真のような専用船で輸入されます。このときの天然ガスはどんな状態ですか。次のア～ウから一つ選びなさい。

- ア 気体 イ 液体 ウ 固体



③ 日本の発電 次の問いに答えなさい。

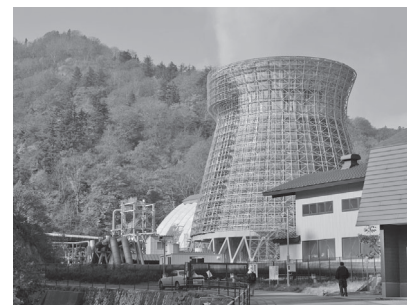
(1) 次の①～③にあてはまる発電方法を、あとのア～エから一つずつ選びなさい。

- ① 大量の水を必要とするため、海沿いに発電所がつくられ、発電のときに二酸化炭素を出さないという長所があります。しかし、放射性物質もれなどの事故が起こる危険性があり、廃炉を求める声も多くあります。
- ② 山沿いに発電所がつくられ、燃料を必要としないので、空気をよごさないクリーンな発電ができます。しかし、川の上流に大きなダムを建てる必要があり、建設費用が多くかかります。
- ③ 海沿いに発電所がつくられ、建設費用があまりかからないという長所があります。しかし、石炭や石油などを燃料にするため、大量の二酸化炭素が発生し、地球温暖化や大気汚染につながるという短所があります。

- ア 水力発電 イ 火力発電 ウ 風力発電 エ 原子力発電

① ② ③

□(2) 右の写真の建物は、岩手県の松川温泉の近くにある発電所です。ここでは、再生可能エネルギーのひとつである地下の蒸気を利用した発電をおこなっています。この発電方法を何といいますか。



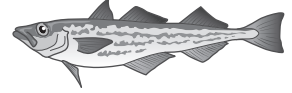
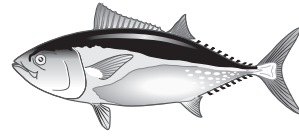
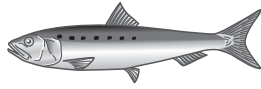
4 日本の水産業 次の魚の絵を見て、あとの問いに答えなさい。

A いわし

B かつお

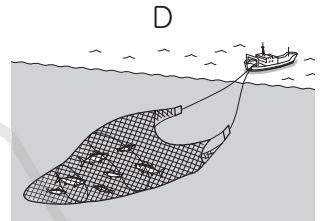
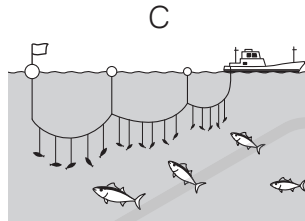
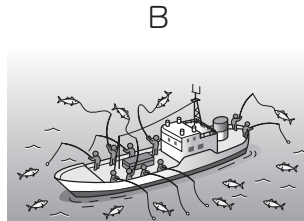
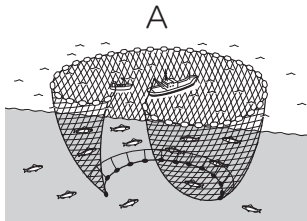
C まぐろ

D すけとうだら



※実際の大きさとはことなります。

□(1) 次のA～Dの図は、それぞれ上のA～Dの魚をとるときの漁法です。漁法の名前を答えなさい。



A	漁法	B	
C	漁法	D	漁法

□(2) B・Cの魚をとる遠洋漁業は、1970年代ごろから漁かく量を大きく減らしました。その原因として考えられることを2つあげて、かんたんに書きなさい。

□(3) 「育てる漁業」のうち、「栽培漁業」とはどのような漁業ですか。かんたんに説明しなさい。

□5 日本の林業 右の地図のA～Fの林業がさかんな地域にあてはまる樹木の名前を、次のア～カから1つずつ選びなさい。

ア 秋田すぎ

イ 尾鷲ひのき

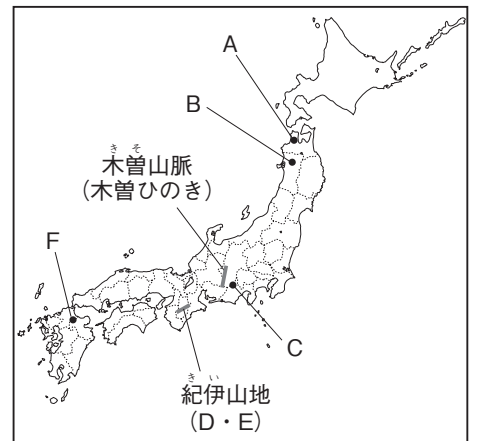
ウ 青森〔津軽〕ひば

エ 天竜すぎ

オ 日田すぎ

カ 吉野すぎ

A		B	
C		D	
E		F	



学 習 の ま と め

◆ 次の(1)～(17)の()にあてはまることばを答えなさい。

日本の水産業

- (1) 現在の日本の漁かく量の1位と2位をしめている魚は、いわしと()です。 (1) _____
- (2) あたたかい水域にいる()は、主に一本づりでとります。 (2) _____
- (3) 灯りをつけてとることが多いかは、青森県の()港で水あげ量が多くなっています。 (3) _____ 港
- (4) 日本海側有数の漁港として知られる鳥取県の境港は、()の水あげが多くなっています。 (4) _____
- (5) (3)港や石巻港の沖にある、暖流と寒流がぶつかる潮目〔潮境〕は、魚のえさとなる()が豊富な好漁場です。 (5) _____
- (6) 東シナ海の()は、浅い海底になっていて海草がよく育つため、よい漁場になっています。 (6) _____
- (7) 日本の遠洋漁業は、沿岸から200カイリ内の()を、各国がもうけたことなどが原因となって、漁かく量が減りました。 (7) _____
- (8) 領海内でおこなわれる()漁業は、赤潮やヘドロなどの海よごれによって、とれる魚が少なくなっています。 (8) _____ 漁業
- (9) ()漁業では、ふ化させた魚をいけすの中で大きくなるまで育ててからとります。 (9) _____ 漁業

日本の資源・日本の林業

- (10) 日本が100%自給できる数少ない資源には、セメントや鉄鋼の原料となる()がふくまれます。 (10) _____
- (11) 日本は中東地域から()を多く輸入しています。 (11) _____
- (12) 日本は、主に液体の形で()を多く輸入しています。 (12) _____
- (13) 現在の日本の発電の中心は、()発電です。 (13) _____ 発電
- (14) ウランやプルトニウムを燃料とする()発電は、2011年の東日本大震災での事故がもとになり、多くの発電所が運転を休止したため、それ以降、発電量が減りました。 (14) _____ 発電
- (15) 風力発電、地熱発電、太陽光発電など、()エネルギーによる発電の実用化が進められています。 (15) _____ エネルギー
- (16) 近畿地方南部の()山地は、古くから林業がさかんです。 (16) _____ 山地
- (17) 林業では、水産業と同じようにわかいあとつぎが不足しているため、働く人の()化が問題になっています。 (17) _____ 化